

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 藤松 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

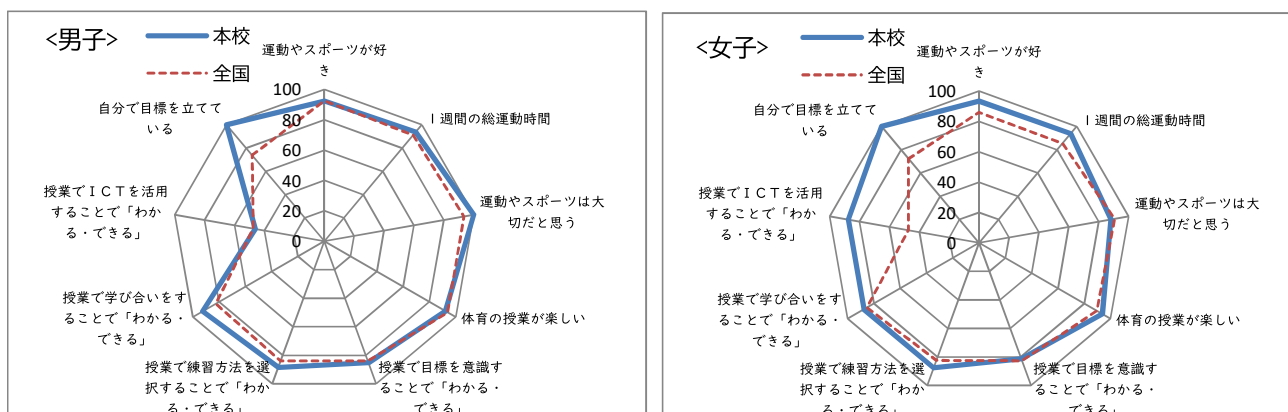
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目			○		○			○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目	○	○		○	○			○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・運動が好きで、体を動かすことが大切なことであることや中学校になったら自主的にスポーツに取り組みたいという意識をもっている。
- ・体育科学習を楽しみと感じ、放課後や学校が休みの日に、地域のスポーツクラブ等に入り、運動やスポーツをする児童が多い。
- ・タブレット等のICTを使って学習することによる成果を感じている児童は、女子の方が多い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ・「新体力テスト」「なわとび大会に向けての大縄練習」等の学校行事・授業を通して、運動に関する関心・意欲の向上を図るとともに、運動量の確保に努める。
- ・特別活動（学級活動）や体育科学習などで健康的な生活習慣の育成に向けた授業づくりや保健指導に取り組む。
- ・「北九州市体力向上プログラム 体育『好きっちゃ』プログラム」を活用した体育科の授業づくりを推進していく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

- ・子どもが主体的に取り組むことができる具体的な取組を年間計画に位置づけ、継続する取組をする。
- ・児童が休み時間などの遊びの中で、思わずたくさん運動をしたくなるような場づくりを継続していく。
- ・「縦割りグループによる活動」を再開し、体力づくりの活動の工夫に取り入れる。